

平和の実現に向けて

- 各教科・単元：①総合…「平和学習」
②国語…「平和実現に向けた提言書を書こう」

- 単元目標：①戦争の悲惨さを学び、平和の大切さについて考えを深めることができる。
②論の進め方を工夫して、平和実現に向けた提言書を作ることができる。

言語活動：平和の実現に向けた提言書を書き、学校や地域に発信しよう。

学習計画（総合「平和学習」）

学習内容
① ウェビングマップ（※）を活用して戦争についてのイメージや知っていることを広げる。
② 戦争平和に関する本を読み、気づいたことや考えたこと、これから学びたいことなどを整理する。
③ 2～3時間程度で、グループごとにテーマを決め、調べ学習をし、発表する準備をする。 発表形態は自由（例：パワポ・ポスター・新聞・紙芝居・劇など）
④各グループの発表
⑤修学旅行のしおりに学びたいことを記入。特に自分が深めたい内容について意識させる。 （例：人的な被害・慰霊碑・原爆・平和を実現するために など）
⑤修学旅行を終えて
⑥平和報告集会に向けて
⑦平和集会
⑧国語「いざというときのために」「平和実現のために提案します！」 一人一枚以上提案書を作成する（word A4一枚） 重点指導事項「筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること」

評価規準（国語「平和実現に向けた提言書を書こう」）

	知・技	思・判・表	主体
	<ul style="list-style-type: none"> ・思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使っている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。(1)オ ・事実と考えなど情報と情報との関係について理解している。(2)ア 	<p>◎「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。B(2)ア</p> <p>・「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)ウ</p>	<p>進んで筋道の通った文章にするために文章全体の構成を考え、学習の見通しを持って、平和の大切さを提言書にまとめようとしている。</p>

学習計画（国語「平和実現に向けた提言書を書こう」）

	主な学習活動
1	<ul style="list-style-type: none"> ・この単元でつけたい力を確かめる。 ・今までの平和学習をふりかえり、修学旅行を経て学んできたことを発信するという目的意識を持つ。 ・戦争（原因）がどんな事態（結果）を引き起こすか交流する。 ・教師モデルを読み、学習の見通しを立てる。 ・戦争、平和に関する資料を再度読み、自分の提言書のテーマを決める。
2	<ul style="list-style-type: none"> ・前時で決めたテーマについて図書やインターネットを活用して情報を集め、情報カードに記載していく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ・集めた情報（事実）に自分の考えや意見、感想などを付け加えていく。 ・伝えたい情報を絞り込む。 ・調べた情報や自分の考えをもとに、構成メモに整理していく。

4	<ul style="list-style-type: none">・構成メモをもとに記事を作成していく。(word B5サイズ原本ありか手書きを選ぶ)・文章を推敲したり、資料の配置や見せ方を考えたりして完成させる。
5	<ul style="list-style-type: none">・作成した提言書を読み合い感想を伝え合う。・単元の学習をふりかえる。